

令和4年度 大学基準協会大学評価研究所大会 テーマ「教育現場の視点から教学マネジメントを捉えなおす」

開催趣旨

昨今の社会の急速な変化や学生の多様化に伴い、大学教育の変革の必要性が叫ばれ続けています。その一環として「教学マネジメント」の確立が大学に求められ、これを後押しする国の政策も進められています。一方で、そうした政策誘導などに対しては、大学を画一化する、あるいは教員の負担を増加させるといった批判も聞かれます。

そこで、大学評価研究所では、令和4年に「教学マネジメントに関する調査研究」を実施しました。この調査研究では、現場の教員は教学マネジメントをどのように捉え、現状をどのように認識しているのか、またどのような点に課題を感じているのか、他方で、学生には教学マネジメントに関する取り組みがどのように伝わっているのかを明らかにし、今後に向けた課題を考察しました。

今回の大会では、この調査研究の結果を共有し、改めて関係各位とともに議論を深めたいと思います。学長のリーダーシップが強調されるなど、トップマネジメントの側面から語られることの多い教学マネジメントですが、教育現場の視点から捉えなおし、真に学生の学びにインパクトを及ぼす教学マネジメントとはどのようなものかを考える一つのきっかけになることを願います。

開催要領

1. 日時：3月16日(木) 14:00～17:00
2. 開催方式：オンライン
3. プログラム

※敬称略

10分 14:00～14:10	◆挨拶：植木 俊哉（大学評価研究所所長 東北大学）
40分 14:10～14:50	◆講演1：教育現場から見た教学マネジメントー教員アンケートから 両角 亜希子（大学評価研究所一般研究員、 東京大学教授）
40分 14:50～15:30	◆講演2：教学マネジメントの現場では何か起きているのか 6大学の教員と学生へのインタビュー調査から 森 朋子（大学評価研究所特任研究員、 桐蔭横浜大学学長）
15:30～15:40	～ 休 憩 ～
80分 15:40～17:00	◆パネルディスカッション モデレーター：大森 不二雄（大学評価研究所一般研究員、 東北大学教授） パネリスト：講演者2名 鈴木 久男（大学評価研究所特任研究員、 北海道大学教授） 藤村 正之（大学評価研究所特任研究員、 上智大学教授） 安田 淳一郎（大学評価研究所特任研究員、 山形大学准教授） (17:00 閉会)